



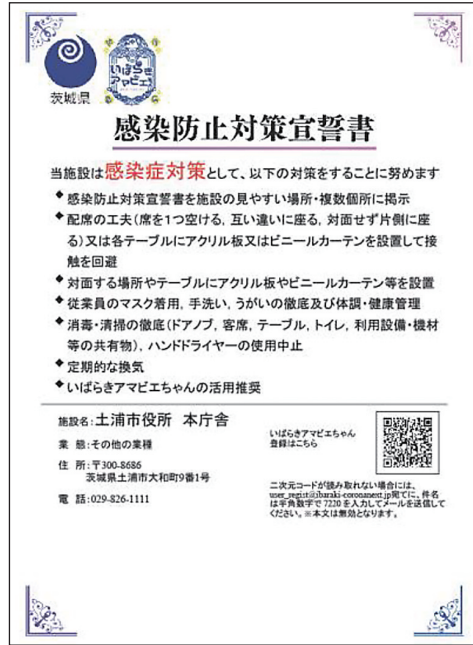
Vol.243

令和2年11月17日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L

土浦市議会も、いばらきアマビエちゃん登録を行っています。



※いばらきアマビエちゃんとは

茨城県のガイドラインに沿って感染防止に取り組んでいる事業者を応援するとともに、感染者が発生した場合にその感染者と接触した可能性がある方に対して注意喚起の連絡をすることで、感染拡大の防止を図ることを目的としたシステムです。

第3回定例会を開催しました。

● 条例等に関する議案等13件を原案可決・同意

令和2年度第3回定例会は、9月1日(火)から24日(木)までの24日間の会期で開かれました。市長からは「土浦市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について」など13件の議案等(認定、諮問を含む)が提出され、原案どおり可決・同意しました。また、総務市民委員会から刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書など3件の委員会提出議案が提出され、原案どおり可決しました。

● 一般質問には8人が登壇

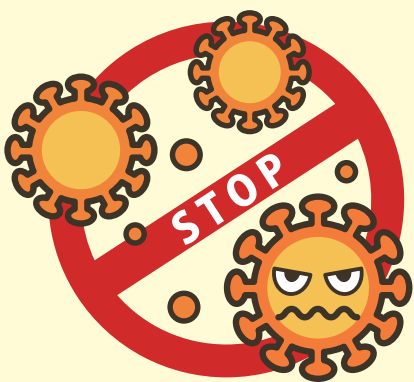
新型コロナウイルス感染症対策として、質問者を8人までと定め、議員から市に対し、一般質問を行いました。

● 予算決算委員会が開催されました。

令和元年度の市の歳入歳出決算について、第3回定例会の会期中に、予算決算委員会において審査を受け、認定しました。

第1回・第2回臨時会を開催しました。

今年は、年4回開催される定例会のほか、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算を議決するため、去る5月14日(木)に第1回臨時会が、7月17日(金)に第2回臨時会がそれぞれ開催され、計5件の議案を全て可決しました。



目次

- 令和2年第3回定例会の結果 1、2
- 予算決算委員会の結果 3
- 令和2年第1回臨時会、第2回臨時会の結果 3
- 一般質問(8名)
 - 奥谷 崇・久松 猛・目黒英一 4
 - 矢口勝雄・柏村忠志・柳澤 明 5
 - 鈴木一彦・勝田達也 6
- 令和元年度政務活動費収支報告 7
- 第4回定例会(12月)の日程 8
- 編集後記 8

<インターネットで市議会の模様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

- 土浦市立図書館
- 各中学校区の地区公民館
- 支所・出張所(都和・南・上大津・新治・神立)

※最新となる会議録(令和2年第3回)は、11月下旬に閲覧可能となります。



第3回

定例会で決まったこと

議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果	議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	2.9.1	2.9.1	原案可決	議案第55号	土浦市水道事業の設置等に関する条例及び土浦市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	2.9.1	2.9.24	原案可決
報告第25号	専決処分の承認について(和解について)	2.9.1	2.9.1	承認	議案第56号	令和2年度土浦市一般会計補正予算(第8回)	2.9.1	2.9.24	原案可決
報告第26号	専決処分の報告について(和解について)	2.9.1	2.9.1	報告	議案第57号	令和2年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)	2.9.1	2.9.24	原案可決
報告第27号	専決処分の報告について(和解について)	2.9.1	2.9.1	報告	議案第58号	令和2年度土浦市介護保険特別会計補正予算(第1回)	2.9.1	2.9.24	原案可決
報告第28号	専決処分の報告について(和解について)	2.9.1	2.9.1	報告	議案第59号	令和2年度土浦市下水道事業会計補正予算(第1回)	2.9.1	2.9.24	原案可決
報告第29号	土浦市土地開発公社の令和元年度経営状況について	2.9.1	2.9.1	報告	議案第60号	市道の路線の認定について	2.9.1	2.9.24	原案可決
報告第30号	一般財団法人土浦市産業文化事業団の令和元年度経営状況について	2.9.1	2.9.1	報告	認定第1号	令和元年度土浦市歳入歳出決算の認定について	2.9.1	2.9.24	認定
報告第31号	一般財団法人土浦市農業公社の令和元年度経営状況について	2.9.1	2.9.1	報告	認定第2号	令和元年度土浦市水道事業会計決算の認定について	2.9.1	2.9.24	認定
報告第32号	株式会社ラクスマリーナの令和元年度経営状況について	2.9.1	2.9.1	報告	議案第61号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	2.9.24	2.9.24	原案同意
報告第33号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率の報告について	2.9.1	2.9.1	報告	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	2.9.24	2.9.24	答申同意
報告第34号	令和元年度決算に基づく資金不足比率の報告について	2.9.1	2.9.1	報告	委員会提出議案第2号	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書について	2.9.24	2.9.24	原案可決
議案第52号	土浦市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	2.9.1	2.9.24	原案可決	委員会提出議案第3号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書について	2.9.24	2.9.24	原案可決
議案第53号	土浦市税条例の一部改正について	2.9.1	2.9.24	原案可決	委員会提出議案第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について	2.9.24	2.9.24	原案可決
議案第54号	土浦市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	2.9.1	2.9.24	原案可決		閉会中の事務調査について	2.9.24	2.9.24	原案可決

議案第61号

土浦市教育委員会委員の任命の同意について同意しました。

委員 岡島 学氏

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。

委員 三輪 和夫氏
古市 みどり氏
石毛 一美氏
小松 正樹氏
河田 輝子氏
中山 恵子氏

受理番号	要旨	上程年月日	議決年月日	委員会審査結果	請願・陳情の結果
2	国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の採択、提出を求める陳情書	2.6.2	2.9.24	採 択	今定例会では、継続審査となっていた請願1件、陳情1件と新規の請願1件、陳情1件の計4件の審査を行いました。
3	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書に関する請願	2.6.2	2.9.24	採 択	
5	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書に関する請願書	2.9.1	2.9.24	採 択	
6	国の責任による「20 人学級」を目指す少人数学級の実現を求める意見書に関する陳情書	2.9.1	2.9.24	継続審査	

採 択 3 件
継続審査 1 件

土浦市歳入歳出決算

賛成多数で
認定



電子採決結果																										
	目黒 英一	平石 勝司	吉田千鶴子	福田一夫	田子優奈	久松猛	奥谷崇	矢口勝雄	勝田達也	塚原圭二	島岡宏明	今野貴子	下村壽郎	鈴木一彦	小坂博	篠塚昌毅	柴原伊一郎	海老原一郎	柳澤明	矢口清	吉田博史	寺内充	柏村忠志	内田卓男	賛成	反対
認定第1号 令和元年度 土浦市歳入歳出 決算の認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	21	2
認定第2号 令和元年度土浦市水道事業 会計決算の認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	○	20	3

※議長（篠塚昌毅議員）は、採決に加わらない。

予算決算委員長付帯意見

健康管理に努力するとともに、適正な職員配置を検討すること。

職員研修費について

●市税については、徴

材育成を図ること。

● 公文書書庫移転事業
については、近年の台風やゲリラ豪雨等の水害が想定される中、今回、移転をした穴塚書庫においても浸水する恐れがあることから、市の財産である公文書を水

こと。

● 消防費については、消防職員は定数に満たない現状で活動をしており、災害が多発している今日、防災力の強化が必要であることから、定数を満たすよう努めるとともに、消防団員

ふるさと土浦応援寄

を進めるよう検討すること。

● 児童福祉費について、引き続き待機児童解消に努めていくこと。認定こども園を市が進めていく中で、保育、幼児教育

る広報活動等により団員の確保に努めること。

● 教育費中、保健体育費について、教職員のスプレッドチェックにおいて、約1割が高ストレス判定を受

●人事管理費のストレ

る丁寧なケアに努めること。

● 保健衛生費については、妊婦・乳児健康に努めること。また、産後ケア事業は良い事業であるので、利用者が増えるよう積極的な広報に努めること。

第3回定例会中に、予算決算委員会において、令和元年度土浦市歳入歳出決算につき、歳入は議員全員、歳出は各分科会の審査を基に、賛成多数で認定しました。その他、令和元年度土浦市水道事業会計決算を認定しました。

第1回・第2回臨時会の結果

今年は、コロナ対策事業等、緊急な案件を臨時会において可決しました。

■第1回臨時会(令和2年5月14日開催)

議案番号等	件 名	結 果
	議席の一部変更について	原案可決
	会期の件	原案可決
報告第3号	専決処分の承認について(土浦市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について)	承 認
報告第4号	専決処分の承認について(土浦市介護保険条例の一部改正について)	承 認
報告第5号	専決処分の承認について(土浦市税条例等の一部改正について)	承 認
報告第6号	専決処分の承認について(土浦市国民健康保険税条例の一部改正について)	承 認
報告第7号	専決処分の承認について(土浦市税条例の一部改正について)	承 認
報告第8号	専決処分の承認について(令和元年度土浦市一般会計補正予算(第9回))	承 認
報告第9号	専決処分の承認について(令和2年度土浦市一般会計補正予算(第1回))	承 認
報告第10号	専決処分の承認について(令和2年度土浦市一般会計補正予算(第2回))	承 認
報告第11号	専決処分の報告について(和解について)	報 告
報告第12号	専決処分の報告について(和解について)	報 告
報告第13号	専決処分の報告について(和解について)	報 告
報告第14号	専決処分の報告について(和解について)	報 告
議案第33号	土浦市国民健康保険条例及び土浦市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第34号	令和2年度土浦市一般会計補正予算(第3回)	原案可決
議案第35号	令和2年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	原案可決

■第2回臨時会(令和2年7月17日開催)

議案番号等	件 名	結 果
	会期の件	原案可決
報告第24号	専決処分の承認について(令和2年度土浦市一般会計補正予算(第6回))	承 認
議案第50号	令和2年度土浦市一般会計補正予算(第7回)	原案可決
議案第51号	財産の取得について(常備消防用災害対応特殊救急自動車購入)	原案可決

第1回臨時会では、被用者が新型コロナウイルス感染症に感染し、業務等に従事できないときの傷病手当金を国民健康保険の任意給付に追加する条例改正や、児童扶養手当を受給する世帯に対して1万円の給付金を支給するための経費、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費の計上のほか、市独自で市民に配布するマスクや消毒液、医療機関に配布する防護服等の購入費、全世界に配布する指定ごみ袋製造委託料、売上が減少している事業者を市独自で助成するための補助金の計上などの補正予算案を可決しました。

第2回臨時会では、市内の障害者施設に配布する非接触型体温計の購入費、災害時の避難所における感染リスク低減を図るための消耗品費等の計上、特別定額給付金の基準日より後に生まれた子に対し、特別定額給付金を市独自で支給する出産育児特別給付金の計上、市施設に配備するアルコール消毒液、A Iサーマルカメラ、非接触型体温計等の購入費の計上等のための補正予算を可決しました。

一般質問



一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を一つ取り上げて要旨を掲載しています。
今定例会では、「一括質問・一括答弁」方式を選択した議員が4名、「一問一答」方式を選択した議員は4名おりました。



奥谷 崇
＜一括質問＞

市内の公共交通充実に向けた取り組みについて伺います。

- 1 「交通政策室」の役割について
- 2 公共交通不便地域解消の取組について
- 3 「つちうらMaas」について

A【都市産業部長】

1 交通政策室は、公共交通不便地域の解消を図るため、新規バス路線等の導入に向けた調査・検討を行うコミュニティ交通導入事業をはじめ、まちづくり活性化バスや、地域間幹線系統で乗車密度の低い既存バス路線を維持するための運行支援、地域公共交通活性化協議会の運営のほか、道路関係の事業として、国道6号牛久土浦バイパス、国道354号の整備促進を図るための要望活動や広域組織の運営、快適な歩行者空間確保のための亀城モール整備、スマートインターチェンジ設置に向けた検討業務など、多岐にわたる事業業務を行っております。

2 新規コミュニティ交通の導入に向けた調査を開始し、当該地域の実態を把握した上で、新規コミュニティ交通を導入してまいりたいと考えております。コミュニティ交通を導入し、維持していくためには、自分たちのバスだと認識していただくことが重要ですので、地域の皆様と協議する場を設け、ニーズを把握し、土浦市地域公共交通活性化協議会において、本格運行へ移行するための方針や基準について検討してまいりたい。

3 「つちうらMaas」は、本市の多彩な観光資源を活かした観光客の増加と、地域公共交通の充実を図るため、サイクルツーリズム超小型モビリティ・コミュニティバスに、キャッシュレス・AI・自動運転を組合わせたMaasの実装に向けた実証実験を展開し、観光客の市内周遊促進、中心市街地の活性化と持続可能な地域公共交通の在り方を検証するものです。7月15日、関東鉄道株式会社为主体となり、本市、JRバス関東株式会社、茨城県、土浦商工会議所、NPO法人まちづくり活性化土浦、筑波大学、茨城県ハイヤー・タクシー協会で構成するつちうらMaas推進協議会が設立されました。

【その他の質問】

● プレミアム付商品券発行事業について



久松 猛
＜一問一答＞

コロナ禍のもと、長期休校後の学校運営のあり方と少人数学級の早期実現をめざして

- 1 通常登校が始まり3か月、この間の子どものケア、学習の遅れ対策、コロナ対策などの実情と課題及び今後の対応について
- 2 学校での新型コロナウイルス感染症対策との重大な矛盾、教室での距離の確保についての見解と対応、及び少人数学級の早期実現への見解について

A【教育長】

1 子どもたちの心と体のケアについて、各学校では児童生徒に学校生活に関するアンケート調査をしたり、児童生徒一人ひとりと面談を行ったり、学校生活の様子をよく見守ったりしながら、心と体の状態を把握してまいりました。また、学習の遅れ対策については、文部科学省が学習指導要領で定める授業時数の確保が必要で、本市では令和2年度に限り、通常40日間の

Q

再質問

再任用の職員の配置は、十分か。

A【教育長】

募集を行っても、集まらないのが現状です。本市に限ったことではなく、県全体、全国でも先生がいらないという現状の中で学校が運営されています。

Q

再質問

学校の授業時間を確保するのに行事を取りやめ、縮小の予定は。

A【教育長】

中学生の修学旅行、小学校の校外学習、市全体の音楽会等、各学校の体育祭などが中止となっています。

Q

再質問

中止でなく、コロナ対策をしながら、柔軟な工夫はできないか。

A【教育長】

できる限り子どもたちの気持ちちは酌んで行いますが、限度もあります。

【その他の質問】

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 店舗等家賃の保障について



目黒 英一
＜一括質問＞

新型コロナウイルス今後の感染拡大対策について

- 1 いばらきアマビエちゃん登録条例化について登録の取組について現在の状況と条例施行後の新たな取組の予定を伺います。
- 2 感染症の行動調査、広範囲な検査について条例施行後の具体的な取組について伺います。
- 3 コロナ差別、いじめ対策について現在の取組と条例施行後の新たな対策について伺います。
- 4 秋以降インフルエンザが流行する前の準備について

A【市長公室長】

1 県におけるいばらきアマビエちゃんの登録条例化について、本市ではアマビエちゃんの登録システムの運用を開始した7月以降、速やかに市ホームページや広報紙などで、いばらきアマビエちゃんへの登録方法や利用方法を掲載し、周知の徹底

を図りました。また、本庁舎、公民館や支所、観光施設など、不特定多数の利用がある全ての施設について、速やかに登録をして、施設の人口付近に「感染防止対策宣言書」を掲げるなど、率先して登録への取組を推進しております。県の条例施行後の施策については、内容を精査した上で県の動向や他市の対応等も注視し、感染拡大の防止を図る観点から施策の構築を検討してまいります。

A【保健福祉部長】

を発信してまいりました。県の条例施行後の取組の予定についても、差別的解消に向け、継続して正しい情報を発信し、理解を広めていくことが重要であると考えております。

A【保健福祉部長】

現在行われている感染者の調査や検査は、感染症法に基づき県が実施しており、市としては、地域外来検査センターの運営への協力や、土浦保健所への保健師応援派遣など、県への協力を行っております。県の感染症の行動調査、広範囲な検査に関する条例施行後につきましても、感染拡大防止に係る対策について、県の協力要請がありました際は、市として積極的に協力支援を行ってまいります。

A【総務部長】

● ホームページや公式ツイッター、フェイスブックで、市長から市民の皆様に向けて、感染リスクのある仕事に従事されている方々とそのご家族、また、感染した方やその関係者である方々に対して、差別をしないように、お互いを思いやり、人権に配慮した冷静な行動を取っていただくようメッセージ

【その他の質問】

- 土浦市からの情報の発信、情報の収集について
- 改正道路交通法に伴う自転車の安全運転について
- コロナ禍においての空き家対策について
- AEDの有効活用推進の為に市民へどのようにするののか





矢口 勝雄
＜一括質問＞

土浦市の価値向上を
図るための施策に
ついて

- ① コロナ禍において企業ではテレワークの採用が進んでおり、土浦市のような都心部に通勤が可能なまちにとつては、東京方面からの移住者を獲得するチャンスであると考えます。執行部の認識を伺います。
- ② 定住者を増やすためには、土浦市の価値を高めていくことが何よりも重要であると考えます。方策として今回は常磐線普通電車の東京駅までの所要時間、短縮を図る事を提案します。執行部の考えを伺います。

A〔市長〕
本市では、テレワークをしながら、自転車を活用した生活体験を通して、本市のまちの魅力や、充実した福祉・教育環境、都心へのアクセスの良さなどを知っていただく「テレワーク移住体験ツアー」というものを企画しています。新しい生活様式により、働き方を始めとしたライフスタイルの変化が求められる中、テレワークは今後

さらに普及していくものと考えます。自宅でテレワークを行いながら、必要に応じて職場に出勤するという働き方の普及は、生活インフラと交通網が整備されている上に、自然豊かな本市にとって、移住を促進する上で、大変有利で、テレワーク移住や2拠点生活を考えておられる方に、本市の魅力を発信する絶好の機会であると考えております。

A〔都市産業部長〕

② 現在、土浦駅周辺で、マンションやホテルの建設が続いておりますことは、上野東京ライン開業の東京・品川駅への乗り入れによる利便性向上が大きな要因の1つであると考えており、今後、特別快速の所要時間の短縮や、土浦止まりとなつていくうちの何本かが、土浦駅以北まで運行されれば、さらに本市の利便性向上が図られ、交流人口、それから、定住人口の増加が期待できるものと考えております。

常磐線のさらなる利便性の向上については、県や、市長が会長を務める茨城県南常磐線輸送力増強期成同盟会などを通し、地域が一丸となりまして時間短縮や、土浦駅以北への本数増加を含め、引き続き粘り強く東日本旅客鉄道株式会社に対しまして、要望活動を実施してまいりたいと考えております。



柏村 忠志
＜一問一答＞

スケボーは、東京
オリンピックで
新競技として採用
されるなど若者
中心に競技人口が
増えています。
スケボーのできる
公営施設を開設
できる条件・環境
について伺う。

Q2

「老老介護」・「認知
介護」世帯の実態と
行政サポート対策
を伺う。

- ① 市内には「老老介護・認知介護」世帯はどのくらいありますか。
- ② 老老介護、認知介護の問題点は、在宅で介護を行っている高齢者が誰にも頼れず、孤立してしまうことです。このような「介護難民」をどのように把握しているのでしょうか。

A〔副市長〕
Q1 スケボーの公営施設を開設できる条件については各競技団体が定める標準的な面積や仕様の定めがなく、環境については市街地や住宅地近郊への整備となることから、地域住民の理解が得られることなどが整備場所の基本

的な条件になるものと考えております。

A〔副市長〕

Q2 ① 第7次老人福祉計画及び介護保険事業計画策定時に実施をしましたアンケート調査では、主な介護者が配偶者である割合が31%、主な介護者の年齢区分で見ると、65歳以上の方が介護している割合が48・4%となっております。「認知介護」についてはデータがありませんので、把握に努めてまいります。

Q2 ② 介護難民対策として、土浦市型の地域包括ケアシステムである土浦市ふれあいネットワークを、他市に先駆けて実施をしています。住民の方から地域で相談が入ると、地域ケアコーディネーター等が自宅を訪問し、実態を把握しながら、具体的な福祉サービスの提案を行っております。支援を要する方が置かれていく状況は様々であり、訪問を定期的に行つて、信頼関係を築きながら、具体的なサービスの提案を行い、支援が必要な場合は、ご本人など

の意向を確認・尊重しながら、関係する機関でチームを組んで支援を行っております。要支援・要介護認定を受けながらも、介護サービス未利用の方に対しては、地域包括支援センター職員によるアウトリーチ、対象者のところに直接出向いて話を聞くことの事業を実施して、実態を把握しながら、必要に応じたサービスの提案等を行っております。

Q

〔再質問〕
土浦駅東口側にある
市の駐車場の一部を
スケボーのできる
公営施設として活用
できないだろうか。

A〔市長〕

過去に騒音が大きな問題となったこともあり、場所については研究していきたいと思っております。

〔その他の質問〕

●「PCR検査・防災博物館公園」を、旧市役所跡地に都市公園として建設することについて



柳澤 明
＜一問一答＞

「ごみ処理について」

- ① 焼却灰の最終処分について
● 今後埋立てを基本とするのか。
● 白鳥処分場に代わる用地の確保は考えているのか。
● リサイクルについての考えは。
- ② ごみ袋の値下げについて
● 値下げの幅と実施時期は。
● 処理手数料収入の使途を限定するべきではないか。

A〔市長〕
① 焼却灰の最終処分については、白鳥町の土浦市一般廃棄物最終処分場において埋立処分を行っており、このまま推移すると、令和11年までは埋立てが可能であると見込んでおります。今後継続してごみ減量化や資源のリサイクルの推進により最終処分場の延命化を図り、焼却灰の最終処分の方法については、新たな処分場の建設やリサイクル、民間委託による処分なども含め、幅広く検討してまいります。

② ごみ袋の値下げにつきましては、価格等につ

いて関係各機関からご意見を頂き、できるだけ早い時期に実現できるように努めてまいります。処理手数料収入の使途については、一般会計に歳入し、ごみ袋の作成及び流通、管理の一般廃棄物有料化事業と容器包装プラスチック及び生ごみのリサイクルなどのごみ処理対策事業に充当しております。処理手数料収入の使途を市民の皆様には周知することは、ごみ有料化に対するご理解、ごみの減量化につながる重要なことと考えておりますので、様々な媒体を通して市民の皆様には周知し、ご理解いただきたいと思います。

〔再質問〕
検討会では焼却灰の
リサイクルを検討
してはいいかがか。

A〔市民生活部長〕

最終処分場の延命化を図るために、民間委託も含めてできるだけ埋め立てる量を減らすような工夫、どのような方法があるかというのは検討してまいります。

〔再質問〕
ごみ袋の値下げは、
強いリーダーシップを
発揮して、前倒しで
公表してはいいかがか。

A〔市長〕

ごみ袋の値下げは私の公約でございます。なるべく早い時期に実現できるように頑張っております。

〔再質問〕
最終処分場の寿命後
の予定地、建設計画
はあるか。

A〔市民生活部長〕
現在のところまだ明確なものはありませんが、来年度に、第3次の土浦市ごみ処理基本計画





鈴木 一彦
＜一問一答＞

Q 土浦市の財政について

●平成30年度に長期財政見通しと財政運営の基本的な考え方が示されたが、このコロナ禍を受けて、今後の土浦市の状況について伺います。

A〔市長公室長〕

令和2年度の長期財政見通しにつきましては、現在策定を進めているところですが、コロナ禍で何よりも影響が大きいと考えられるのは市税収入です。特に、法人市民税は大きな影響を受けており、昨年度と比較すると、7月末時点で既に5億5千万円ほど減収となつています。一方、今年の所得を基に来年度に課税される個人市民税についても、大きく落ち込むことが見込まれます。減収幅につきましても、ただいま分析、検証を進めているところです。今後、少子高齢化による社会保障費の増や大規模事業の実施による公債費の増、老朽化した施設の改修・更新費が増加する中で、歳入

の根幹である市税収入が減収しますと、財源不足も見込まれ、財政状況は極めて厳しい状況となることが予想されます。

〔再質問〕

今後は、財政が厳しい状況となると、その対策はいかがか。

A〔市長公室長〕

本市におきましては、従来から無駄を省き、効率的で効果的な財政運営に努めておりますが、今後はなお一層徹底をしてまいります。

Q

〔再質問〕
具体的な内容を教えていただきたい。

A〔市長公室長〕

新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金、各省庁所管の補助金、交付金について、徹底した情報収集を行い、活用できるものを余すことなく活

Q 〔再質問〕
財政調整基金の額は十分か説明を願いたい。

A〔市長公室長〕

約68億7千万円で、類似団体の金額を上回っているものの、税収の大幅な減少が見込まれる一方でコロナ対策や社会保障費、インフラや公共施設の改修・更新費用の増加、これに加えて豪雨や台風などの災害に対する備えも必要ですので、決して十分な金額とは考えておりません。

〔その他の質問〕

●機構改革が必要と思われるが、こども福祉部をつくる考えはどうか、都市産業部を2つに分ける考えはどうか、執行部の見解を伺う。

●霞ヶ浦ラクスマリーナ周辺の観光開発について



勝田 達也
＜一括質問＞

Q 新型コロナウイルスへの対応について伺います。

- 1 感染者に対し感染防止の観点から家族も含めてどのように対応ケアするのか。
- 2 現在の市民への情報伝達は十分足りているのか。
- 3 感染に対して疑心暗鬼を払しょくするために感染者も含めて市民のリテラシーをどのように高めるのか。
- 4 感染者やそのご家族の人権をいかに守り、その方々を受け入れる地域社会をいかに作るのか。

A〔保健福祉部長〕

- 1 感染症患者及び感染の疑いのある方には、法律に基づき、県知事の権限による入院などの措置が実施されます。
- 2 感染者の発生状況等の公表に関しては、法律

により国及び県が行うことと規定されており、本市では、茨城県が公表した情報について市ホームページを活用し、市民の方々に随時お伝えをしております。新型コロナウイルス感染症は、誰にでも生じ得るものであり、感染状況に関する感染者本人や濃厚接触者の情報の公表により、特定の個人に不当な差別及び偏見を生じないように、地域にネガティブなイメージを生じないようにすることが極めて重要であると考えておりますので、公表に当たっては、慎重に対応してまいります。

A〔総務部長〕

4 市民の皆様が感染症に対する正しい情報を持ち、理解した上で行動することが重要であると認識しています。感染した人やそのご家族を非難することがないように、啓発を継続して行っていくことが必要だと考え、市ホームページや広報紙などを始めとした広報媒体を活用しております。

〔その他の質問〕

- 令和3年度市の予算編成の考え方について
- 市職員の人材育成について
- 高齢者の熱中症対策について



意外とグルメ、意外と便利、意外と遊べる…などなど意外と〇〇な
土浦の魅力を!

意外と〇〇!
つちうら

紹介するサイトへGO!

<http://www.tsuchiura-pr.jp/>



令和元年度政務活動費収支報告

土浦市議会では、議員の調査研究やその他の活動に必要な経費の一部として、会派に対し政務活動費を交付しています。収支報告書と領収書等は議長に提出され、常任委員会の総務市民委員会で厳正に審査を受けています。

◎会派代表者 ○経理担当者

郁政クラブ

◎内田 卓男 海老原一郎 矢口 清
篠塚 昌毅 小坂 博 下村 壽郎
島岡 宏明 塚原 圭二
○勝田 達也 矢口 勝雄 ※奥谷 崇

(単位：円)

収入	2,900,000
支出	2,695,052
調査研究費	1,442,900
研修費	39,750
広報費	497,915
資料購入費	699,449
事務所費	15,038
返還額	204,948

※奥谷議員は令和元年10月1日から令和2年3月31日の6か月分

政新会

◎寺内 充 吉田 博史 柳澤 明
柴原伊一郎 鈴木 一彦
○今野貴子

(単位：円)

収入	1,650,000
支出	1,284,790
調査研究費	868,930
資料購入費	344,065
事務所費	71,795
返還額	365,210

公明党土浦市議団

◎吉田千鶴子 福田 一夫
○平石 勝司 目黒 英一

(単位：円)

収入	1,100,000
支出	1,035,218
調査研究費	701,510
資料購入費	261,698
事務所費	72,010
返還額	64,782

日本共産党土浦市議団

◎久松 猛
○田子 優奈

(単位：円)

収入	550,000
支出	374,959
研修費	82,400
広報費	145,200
資料購入費	85,723
事務所費	61,636
返還額	175,041

市民ネット 21

◎○柏村 忠志

(単位：円)

収入	275,000
支出	249,546
調査研究費	111,490
資料購入費	129,696
事務所費	8,360
返還額	25,454

土浦の未来を語る会
(令和元年9月30日解散)

◎○※奥谷 崇

(単位：円)

収入	275,000
支出	1,620
資料購入費	1,620
返還額	273,380

※令和元年5月1日から令和元年9月30日までの5か月分

各会派から提出された政務活動費収支報告書、領収書等は、市議会ホームページからご覧いただけます。

政務活動費の項目と内容は次のとおりです。

議案番号等	内 容
調査研究費	会派(議員)が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研 修 費	会派(議員)が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広 報 費	会派(議員)が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広 聴 費	会派(議員)が行う住民からの市政及び会派の活動に 対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派(議員)が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会 議 費	会派(議員)行う各種会議、団体等が開催する意見交 換会等各種会議への会派(議員)としての参加に要する経費
資料作成費	会派(議員)が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派(議員)が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人 件 費	会派(議員)が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事 務 所 費	会派(議員)が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

Q 交付金額は
いくらですか?

A

議員一人あたり月額
2万5千円、年額30万
円で、会派に対し、こ
の金額に所属議員数
を乗じた額が交付さ
れます。(令和元年度
は、改選のため令和
元年5月から令和2年
3月までの11か月で、
年額27万5千円)

永年在職議員表彰

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会より、永年在職議員として2名の議員が表彰されました。

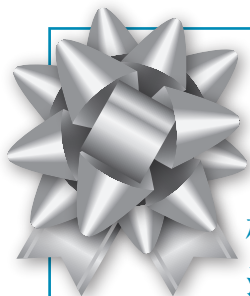
【議員在職20年以上】

●全国・茨城県

矢口 清

●全国・茨城県

柳澤 明



写真（左から、矢口 清 議員、柳澤 明 議員）

令和2年第4回定例会日程（予定）

※最新の日程は市ホームページにてお知らせいたします。

日	曜	会議時間	
11/20	金		招集告示・議会運営委員会
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		一般質問通告受付開始
25	水		一般質問通告締め切り
26	木		
27	金		請願・陳情受付締め切り
28	土		
29	日		
30	月		
12/1	火	午前10時	本会議（招集日）
2	水		休 会
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月	午前10時	本会議（一般質問） 議案質疑通告締め切り（午後1時）
8	火	午前10時	本会議（一般質問）
9	水	午前10時	本会議（一般質問・議案質疑）
10	木		
11	金		
12	土		休会（常任委員会）
13	日		討論通告締め切り （委員会終了日の翌日）
14	月		
15	火		
16	水		
17	木		
18	金	午前10時	本会議（最終日）

議会史「土浦市議会五十年のあゆみ」の有償頒布

土浦市議会では「土浦市議会五十年のあゆみ」を有償で頒布いたします。

これは市制施行50周年の後、土浦市議会として初めて刊行した議会史で、市制施行から50年間にわたる市議会の活動記録が詳細にまとめられております。国内外の出来事なども年代ごとに掲載されており、当時の時代背景を回想するにも最適な1冊かと思えます。

また、別冊の写真集もセットとなっております。市が誕生する以前、明治時代からの土浦の発展の様子がうかがえる大変貴重な写真集もセットとなっております。市が誕生する以前、明治時代からの土浦の発展の様子がうかがえる大変貴重な写真集もセットとなっております。

重なる写真が約800枚も掲載されておりますので、これを見ながらお子さんやお孫さんに土浦の歴史をお話しされるのも一興ではないでしょうか。

頒布冊数に限りがあり、先着希望者のみとなりますが、頒布価格と申込方法は次のとおりです。

【頒布価格】 1セット 3,000円

（発刊当時定価1万6,500円）

【申込方法】 購入ご希望の方は、左記までご連絡ください。

【連絡先】 土浦市議会事務局

☎（826）1111 内2277



議会報告会の開催に向け、検討しています。

土浦市議会における議会報告会の予定は、現在未定です。新型コロナウイルスの状況を考慮し、開催を視野に、手法と時期を検討しています。

広報広聴委員会

委員長	島岡 宏明
副委員長	勝田 達也
委員	吉田 博史
委員	吉田 千鶴子
委員	海老原 一郎
委員	小坂 博
委員	今野 貴子
委員	塚原 圭二
委員	目黒 英一

土浦市市制施行80周年
誠におめでとございます。
今般「ウィズコロナ」との言葉通り、新型コロナウイルスとの共存が当分の間想定されます。感染防止と社会経済活動を両立する為には、どのようなリスクを避け、どこまでのリスクを受け入れるかを明確にする事と、多様な考え方を尊重する事が必要とされています。市民の皆様が安心して安全に暮らしていきますように市議会三致団結して取り組んで参ります。

（委員 目黒 英一）

【編集後記】

